

2019年度 岡山大学環境理工学部 出張講義タイトルリスト



Let's think globally and act locally!

講義タイトル		講師名
【環境数理学科】		
1	トポロジー(代数的位相幾何学)の話題から	森本 雅治
2	数学で人口を調べる	梶原 毅
3	病気の流行と数学	梶原 毅
4	生物の数の変化を数学で考える	佐々木 徹
5	スーパーコンピュータを用いた流れの数値シミュレーション	石原 卓
6	統計的検定:ピーチで判断	坂本 亘
【環境デザイン工学科】		
1	リサイクル社会を目指して -大量生産・大量消費・大量廃棄型社会から循環型社会へ-	藤原 健史
2	ごみは宝の山?	川本 克也

3	環境の中をめぐる化学物質	川本 克也
4	持続可能な開発目標(SDGs)とは何か	阿部 宏史
5	大学における防災・減災の講義を聞いてみよう	西山 哲
6	コンクリートと環境	綾野 克紀
7	安全・安心な暮らしを支えている地盤のお話 (地盤災害と環境問題)	竹下 祐二
8	2018年7月の西日本豪雨による岡山県の河川災害の状況と課題	前野 詩朗
9	陸水の循環・流動と物質輸送	大久保 賢治
10	3Rと循環型社会	松井 康弘
11	持続可能な水処理技術:水と食料と資源	永禮 英明
12	地下水資源の開発・保全と建設工事・自然災害・汚染問題への対策	小松 満
13	温暖化、そして地球はどうなる?	岩田 徹
14	環境に配慮した未来型都市の構築	橋本 成仁
15	まちづくりを科学する - 安全・安心な空間づくり -	橋本 成仁
16	過疎地域の生活交通を考える	橋本 成仁
17	先人達による国土づくり、地域づくり	樋口 輝久
18	橋梁の力学	木本 和志
19	岡山県の河川の治水と水環境に関する最近の話題	吉田 圭介
20	津波の予測 これまでとこれから	赤穂 良輔
21	産業副産物から作る高耐久性コンクリート	藤井 隆史
22	風力発電と潮流発電のはなし	比江島 慎二
23	住みやすいまちとは?	氏原 岳人
24	人口減少下の都市計画とコンパクトシティ	氏原 岳人
25	陸と海とのつながり - 瀬戸内海流域を例に -	齋藤 光代
26	雨が降ると、なぜ土砂災害が起こるのか	金 乗洙



2019年度 岡山大学環境理工学部 出張講義タイトルリスト

【環境管理工学科】		
1	陸域最大の炭素貯蔵庫「土壌」の機能を探る	森 也寸志
2	地域資源循環型社会を考える	森 也寸志
3	農民のために！ 東北タイで地水環境を探る	諸泉 利嗣
4	蒸発散量の長期変動から地球温暖化を考える	諸泉 利嗣
5	紙とヤシ油からみた世界とのつながり	生方 史数
6	「文系」の視点からみた環境問題	生方 史数
7	環境はみんなのもの - コモンズという考え方 -	生方 史数
8	身近な生物のザリガニを通じて環境を考える	中田 和義
9	海と川を回遊する水生動物の生態	中田 和義
10	データサイエンスが拓く環境管理工学の未来	珠玖 隆行
11	自然災害の機構を考える	西村 伸一
12	泥を資源にしよう	西村 伸一
13	ビオトープ池から自然の仕組みを理解する	中嶋 佳貴
14	水生植物の蔓延を助長する人間活動とは？	中嶋 佳貴
15	環境学と食の関わり	前田 守弘
16	研究の進め方と発表の方法	前田 守弘
17	100年に1度の大雨	近森 秀高
18	野生動物との共生を考える	九鬼 康彰
19	コハクチョウの越冬が冬期湛水水田の水・土壌環境に与える影響	宗村 広昭
20	気候の変化によって将来の水循環はどうなるのか？	工藤 亮治
【環境物質工学科】		
1	家庭ごみから資源を取り出す	難波 徳郎

2	ガラスはなぜ透明か？ ガラスの性質を利用した機能材料	難波 徳郎
3	原子を見る。原子の並び方の調べ方	難波 徳郎
4	ゴミ処理の現状とこれからの課題	難波 徳郎
5	放射性廃棄物のリサイクル	難波 徳郎
6	エネルギーを生み出す材料化学	亀島 欣一
7	おいしい水を作り出す材料化学	亀島 欣一
8	地球に優しい材料、粘土鉱物とは？	亀島 欣一
9	生活の中のプラスチック化学 - プラスチックと環境の関わりを考えよう -	木村 邦生
10	高分子の生い立ち - ナイロンの発見からバットマンスーツまで -	木村 邦生
11	植物からプラスチックを作り出す - バイオプラスチックってなんだろう？ -	木村 邦生
12	原子力を核化学からひもとく - 原子力発電と原爆 -	木村 邦生
13	環境ホルモンって何だろう？	木村 邦生
14	オゾンホールはなぜできた？	木村 邦生
15	温度と圧力による水の特性変化とケミカルリサイクルへの有効利用	木村 幸敬
16	水を使ってゴミから宝を	木村 幸敬
17	木からプラスチック素材を産み出す環境に優しいプロセス	木村 幸敬

